

28

河川名

なかがわ

那珂川水系

## 那珂川

特徴・アピールポイントなど

事前に有識者ヒアリングを行い、比較的新しいタイプの魚道である台形断面型魚道の採用を行った先進的な事例です。



「プール式台形断面型魚道」を採用したことで、魚道閉塞が解消され大小の魚類や甲殻類等が遡上しやすくなりました。台形断面型魚道は土砂やごみがたまらないため、維持管理の点からも優れています。途中には、勾配を緩くし、容積も大きく確保した「休憩用プール」を設けました。

## 改修前の魚道の課題

従前の魚道では、洪水時に土砂や流木などが魚道に流入し、魚道が閉塞していた。



## プール式台形断面型魚道の特徴

- ・平水時に越流水深が10～25cmになるように設定すると、流況が遡上しやすい環境となる。
- ・壁を斜めにしたプール型階段式の台形断面にすることにより、魚道の真ん中の流れは激しく、壁際の流れは緩やかになることから、壁際の流れに沿って、魚やエビなどの水生生物が上り下りできる。

## 完成後

- 晴天時には小魚が隔壁端部を次々に遡上する姿が確認された。
- フナやコイなど大型魚も跳躍しながら遡上する姿が確認された。
- 洪水時、魚道を水が激しく流れ、プール内の土砂を排出する様子を確認された。
- 隔壁の角を丸く施工した結果、滑らかな水流が確認された。



完成時

